



誠・力・光

令和6年12月 9日

練馬区立北町中学校

学校だより 12月号

社会の一員として

校長 中嶋 雅彦

朝の校門をくぐると、主事さんが落ち葉を集めています。校庭の樹木は、まだ、その色を変えない葉をたくさん身にまとっています。先月はクラスごとに、放課後の時間を使い、クリーン運動を行いました。「学校や地域において取り組む清掃活動において、生徒の環境美化に対する心情や実践力を養い、勤労に対する意識や地域社会の一員としての自覚を高める。」という目標を達成できるように学年、学校をあげて活動しています。地域とともに活動する学校、自分たちが生活する地域社会を体験から感じとって欲しいと願い、担任の先生は子どもたちとともに落ち葉や、ごみを分別し回収しています。

先月は、社会との関わりから自らの成長や課題を見つける活動が多く行われました。1年生の川越校外学習、2年生の東京校外学習では、班ごとになり、学習の場を校外に設定し、学習を行っていきます。少人数の仲間と事前に十分に知識を得ているとはいっても、通い慣れた学校とは違い、予期せぬことが起きたときの対応に苦慮することは少なくないはずです。仲間と協力して、物事をやり遂げる力を身に付ける。自分の暮らしている地域を成長段階に応じてその領域を広げていく。多種多様な人たちとの関わりを通して、自分を変化させ、その生き方を見つけていく。あいさつをする・時間を守る・身だしなみを整えるなどの基本的な生活習慣だけでなく、数多くの社会性を身に付けることができるいい機会となっています。

3年生は、義務教育9年間を終えた後の生き方についてその進路を選択し、歩み始める準備が行われています。面接練習もその一つです。進学、就職時に行われる面接にどのようにのぞめばよいのか不安を抱えている生徒もいます。面接を実際には行わずに4月を迎える生徒もいます。私は、副校長と協力して3年生と1対1で話をする場を設けるという意味も含め、面接練習に参加しています。自分自身を語ることの大切さと大変さをともに感じながら、この時間を大切に過ごしています。

北町中学校の生徒も年末、年始には、家族や地域の方々と過ごす時間が多くなります。保護者や地域の皆様には、1年間子どもたちの成長とともに気を配り、その成長を支援していただいたことに感謝するとともに、新年を迎えるに当たって、さらに、皆様のご協力とともに本校の教育活動をよりよいものにするを誓い、推進していきたいと考えています。家庭や地域で過ごす子どもたちを社会の一員として愛情の目を注いでいただければと願っています。